

事務所・住居等安全点検結果

事務所・住居等の評価基準

下記の 4 段階で評価している。

- A ・ ・ 現在のままで問題ない。
- B ・ ・ 若干の改善を加えれば、現在のままでよい。
- C ・ ・ 相当の問題があり、可能であれば転居も考えた方がよい。
- D ・ ・ 改善不能の問題があり、転居することが望ましい。

1 JICA 事務所

[所在地] マプト市ポラナスイメクト地区所在の高層ビルに入居

[実施日] 2007.07.18 15:30～16:15

[予想し得るリスク]

押し込み強盗、事務所荒らし、事務所周辺での すり・ひったくり・路上強盗

[評 価]・・・A

(1) 事務所および住居の環境

- ① 事務所は、ポラナスイメクト地区の繁華街にある 24 階建ビルの 5 階に入居している。同ビルは 1 階～2 階がショッピングセンター、3 階から 11 階までがオフィス、12 階以上は居住区となっている。居住区には仲間調整員ら事務所員 3 名が居住している。
- ② ビル前通りは交通量が非常に多く、道路の中央分離帯部分に露天のお土産店が連ねて出店しており、同所では「すり、ひったくり被害」が多発している。

(2) 家屋の概要

- ① ビルは本館と別館があり、事務所は 24 階建本館の 5 階に入居している。本館はビルに向かって左側にオフィス専用の出入口、中央にショッピングセンター専用の出入口、右側に住居専用の出入口があり、それぞれ独立している。本館にはこの他に左側面の大通り側にインターナショナル銀行専用の出入口がある。
- ② 別館は 9 階建てで、本館の裏側にあり全階がオフィスで、出入口は 1 箇所あり別館専用である。この別館出入口に向かって左側に地下駐車場の出入口があり、出入口の脇に警備員室があり常時 1 名(夜間は拳銃携帯)が出入車をチェックしている。保有公用車及び私用車は地下駐車場に駐車している。駐車場内からのエレベーターは、オフィス用と居住者用が別れており、オフィス用は 11 階まで停止し、居住者用は 12 階から停止する。
- ③ 本館のオフィス用玄関は、両開きのガラス扉でシリンダー錠を取り付けているが、警備員が常駐していることから夜間も施錠していない。
- ④ 玄関を入った左に受付兼警備員席があり、昼間は男女 2 名の警備員が、夜間は男子警備員 2 名がけん銃を携帯して警備している。
来訪者は受付で行き先を告げ、入館証の交付を受けて入館している。階上へはエレベーター 2 基と非常階段がある。エレベーターと非常階段は地階の駐車場に通じている。
- ⑤ JICA 事務所は 5 階にあり、出入口扉は頑丈な鉄板入り板扉で電気錠(受付員が開閉する)とシリンダー錠を取り付けている。この扉の上部に監視カメラ

を設置し、扉の右壁面にインターホンを取り付けている。

監視カメラはパソコンと連動しており出入りのある都度パソコン(DVD)に記録されている。

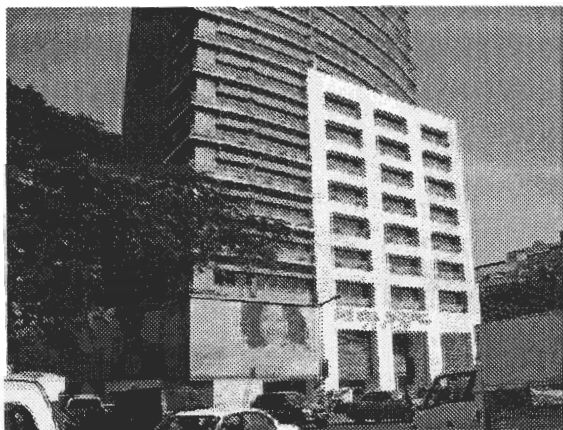
- ⑥ この扉を入ると左側に会議室出入口、右側に受付窓口(防弾ガラス使用)があり、この奥に更に玄関扉と同じ扉があり電気錠とシリンダー錠を取り付け、いわゆるエアロック方式をとっており、受付員が来訪者を確認して開閉している。所員はリモコンで扉を開閉し出入りしている。
- ⑦ この扉を入ると廊下があり、左側は会議室、非常階段、倉庫、トイレ、厨房がある。廊下の右側には執務室出入口が2箇所あり、扉にはシリンダー錠を取り付けており、手前の扉を入ると右に受付席があり、受付席の右斜め上方の壁面に玄関監視用のモニターTVを設置し、机上には電気錠開閉ボタン、机脇の壁面にはインターホン(JICA 玄関と通話)を取り付けている。
- ⑧ 執務室は受付を含めた大部屋方式で、部屋の一角を仕切って所長室があり、出入口扉はシリンダー錠付の板扉で、金庫は所長席の後ろに設置している。
- ⑨ 事務所内の窓は二重ガラス窓で、窓からの侵入は不可能である。

(3) 改善点等

事務所の出入口の監視には、パソコン連動の監視カメラ、録画装置を設置するなどして、2004年2月の巡回指導時よりもハード面はより充実しており、特に改善点はない。

但し、本年7月11日の深夜、事務所周辺で武装した商店押込強盗団と警察隊との銃撃戦が発生しており、夜間の残業は極力抑えることが望まれる。また、周辺では「すり・ひったくり被害」が多いことから、関係者のへの注意喚起が必要である。

【JICA 事務所写真】

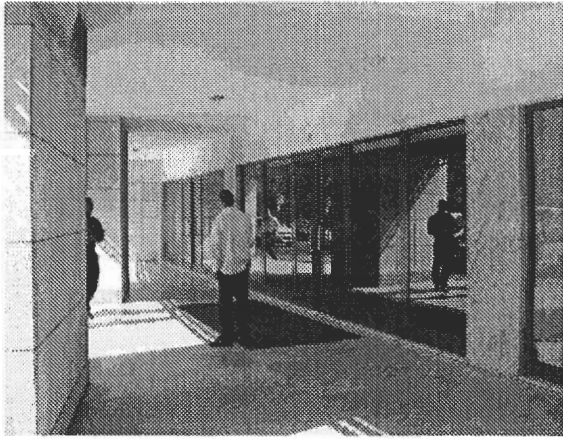


JICA 事務所入居ビル

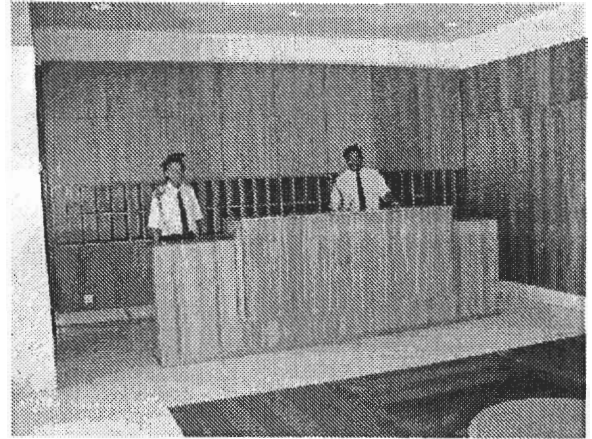


入居ビル前通り

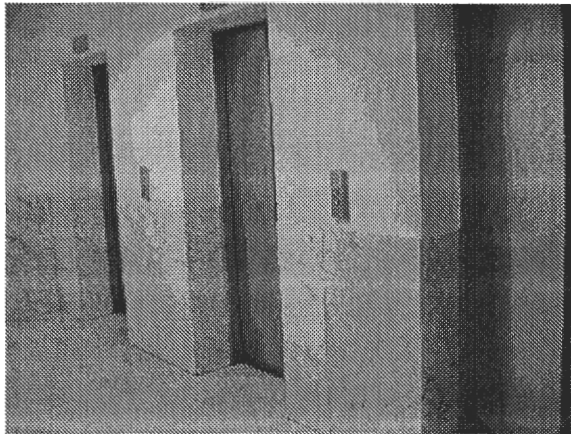
24階建の5階右側部分に入居している。路上にお土産店があり交通量は多い。



ビル玄関
奥の部分がオフィス部分の玄関



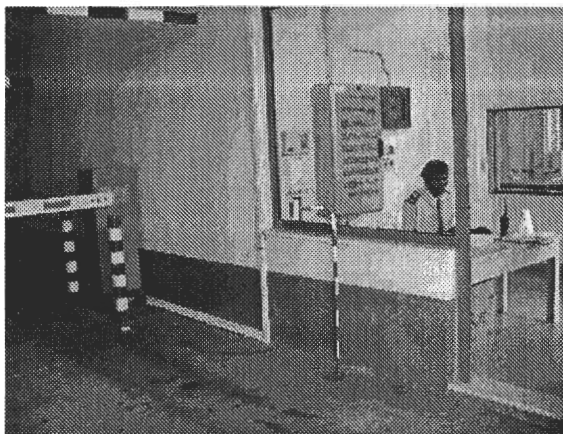
オフィス部分の警備員
常時2名常駐している。



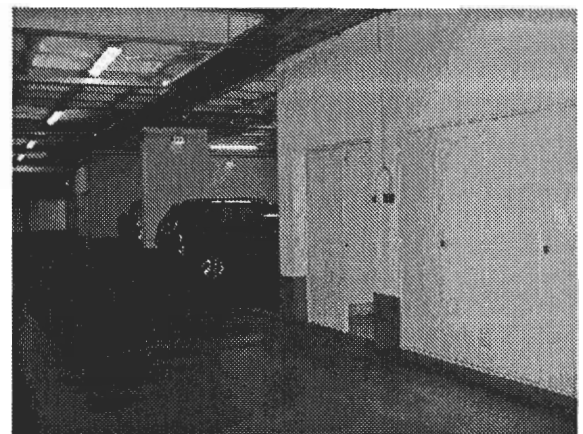
オフィス部分のエレベーター



ビル裏側
別館部分で左の出入口部分が地下駐車場
出入口



地下駐車場出入口警備員
常時1名配置され出入車をチェックし
ている。

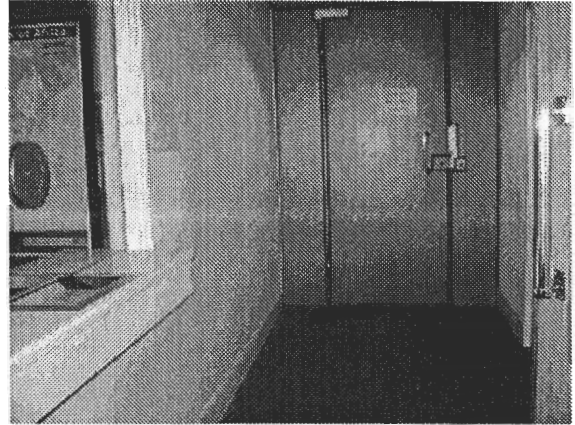


地下駐車場
右扉は階上に通じる出入口扉



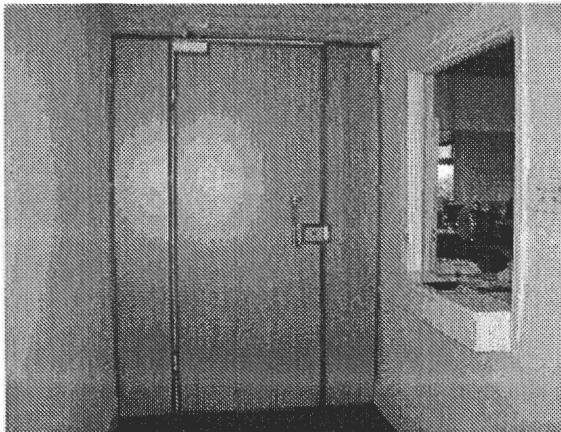
JICA 事務所玄関

天井に監視カメラ、右壁面にインターホンを設置、錠前は電気錠、シリンダー錠



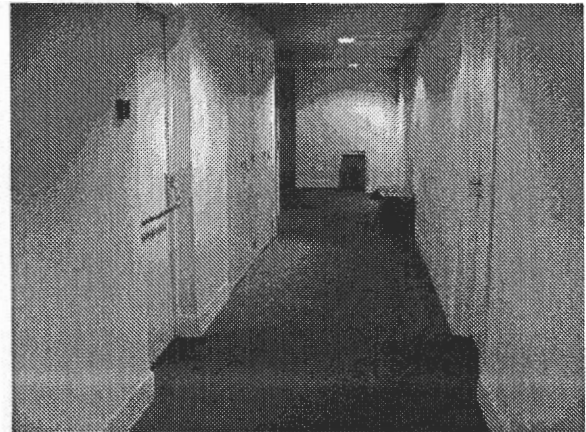
玄関扉の内側

左側窓は受付窓口(防弾ガラス使用)



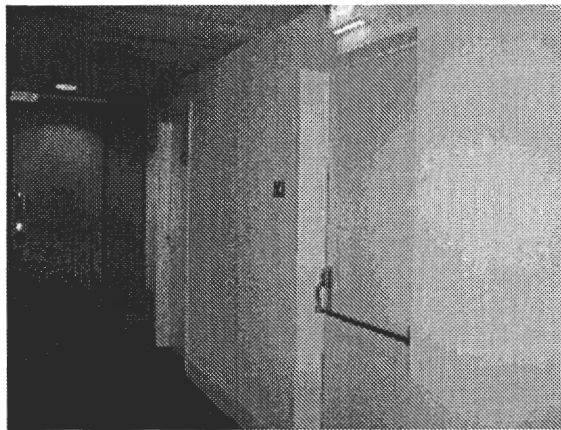
受付窓口と第2の玄関扉

エアロック方式を採用している。



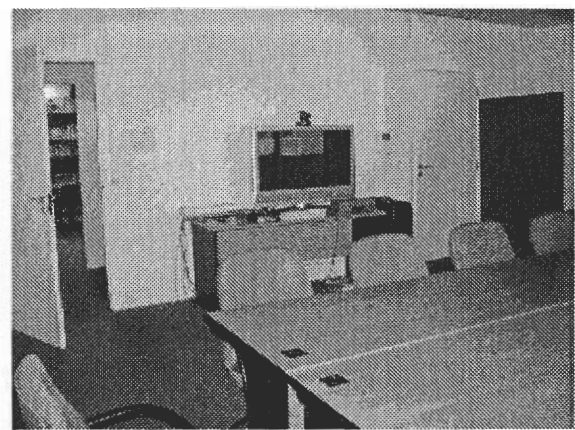
廊下

左手前は非常口、奥は倉庫・厨房・トイレ、右側は執務室部分



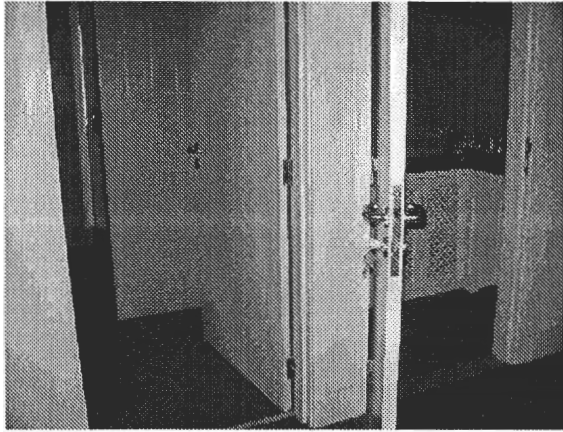
非常口扉

内側からのみ開閉できる。

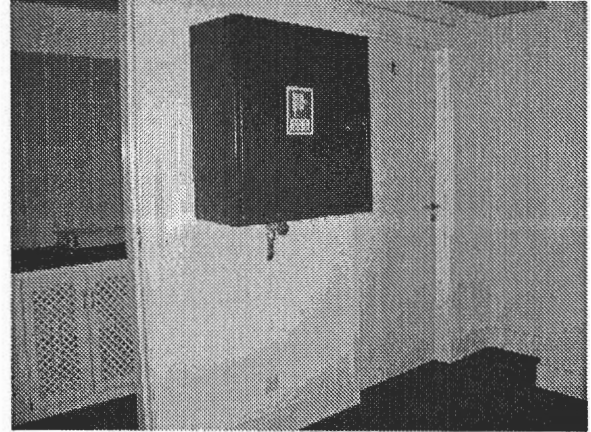


会議室

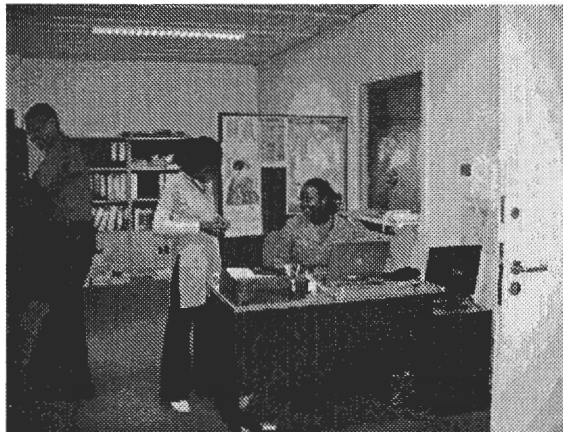
右の扉は受付窓口に通じる扉



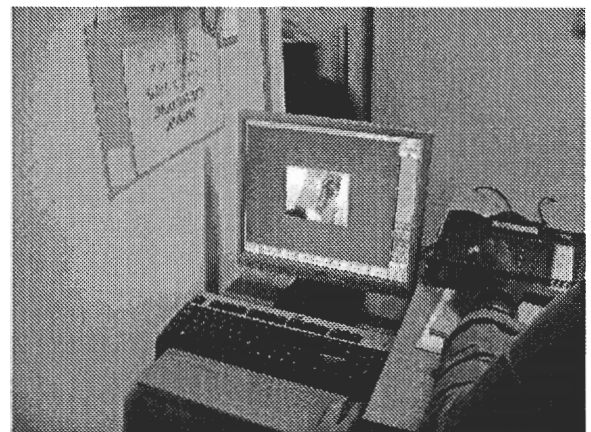
女子トイレ・厨房



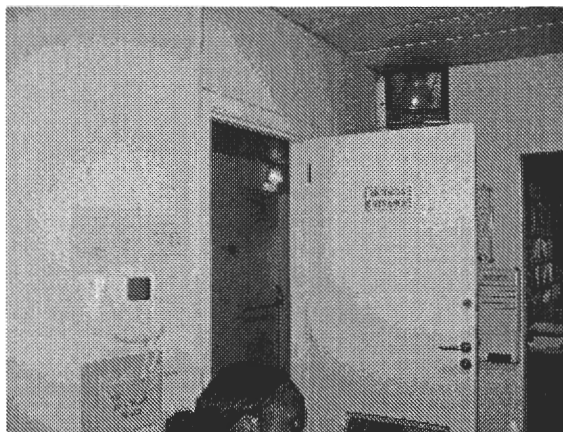
男子トイレ
赤のボックスは消火栓



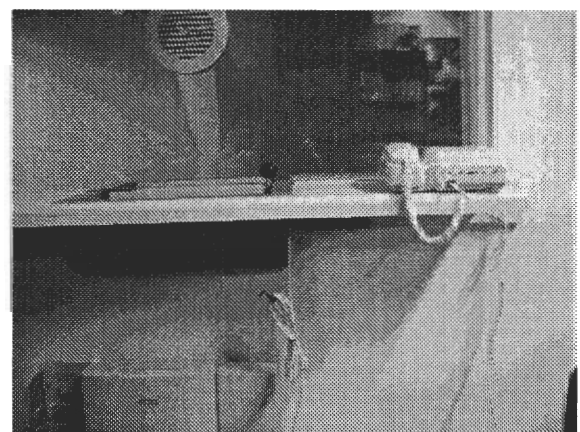
受付窓口
右のパソコンは監視カメラと連動
している。



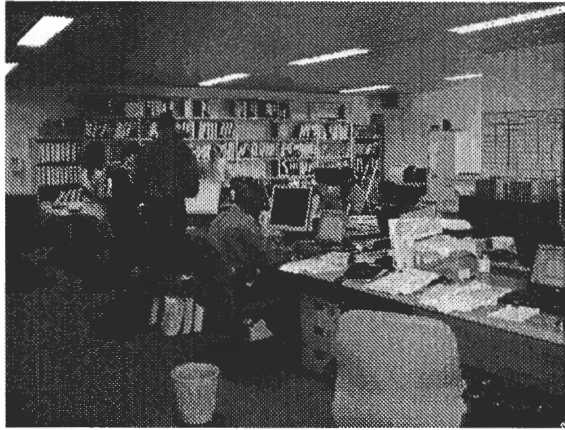
監視カメラパソコン
玄関監視カメラと連動しており、常時
記録(DVD)している。



監視カメラのモニターTV
左は玄関に通じるインターホーン



受付窓口下のパニックボタン

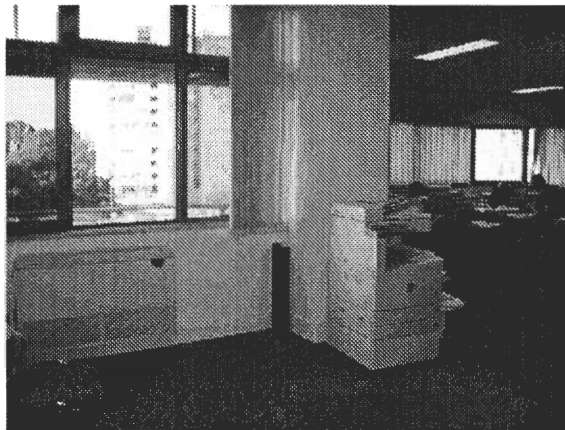


執務室内



所長室

金庫は左奥にある。



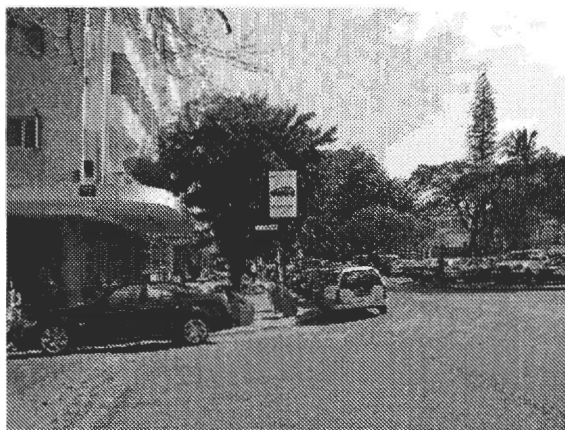
窓

2重窓で外部からの侵入は不可能である。



入居ビルから見た銃撃戦現場

高いビルの1階に狙われたパソコン店があり、中央分離帯上の駐車車両付近が現場



狙われたパソコン店の前が賊と警察隊の銃撃戦現場



銃撃戦現場から見た JICA 入居ビルの前通り

2 隊員連絡所

[所在地] マプト市ポラナシータント地区

[実施日] 2007.07.16 17:00～17:50

[予想し得るリスク]

押し込み強盗、空き巣、忍び込み、居空き、連絡所周辺での ひったくり・路上強盗

[評価]・・・A(但し、周辺環境に注意を要する。)

(1) 連絡所周辺環境

- ① 連絡所は、JICA 事務所の裏側 200m 程のところであり、周辺一帯は住宅街である。
- ② 同地区一帯は路上強盗や侵入盗の多い地区と言われている。

(2) 家屋の概要

- ① 本家屋には、以前田村専門家が居住しており、無防備の状態にあったことから押し込み強盗被害に遭遇し、その後万全な対策を講じた家屋である。
- ② 家屋は母屋と別棟があり、母屋はブロック造り瓦葺の 2 階建てで、別棟はブロック造りの平屋である。
敷地の周囲は表側が高さ約 1 m のブロック塀の上部に高さ約 1.5m の鉄柵塀を取り付け、更にその上部にレザブレードワイヤーを取り付けている。
敷地の両側面、裏側の塀は高さ約 2 m のブロック塀で上部にレザブレードワイヤーを取り付けている。
- ③ 通用門は家屋に向かって右側にあり、扉は両開きの鉄柵扉で、鎖付きの南京錠を取り付けて施錠できるようにしている。車両の出入門は左側にあり、両開きの南京錠付きの鉄柵扉で、下の部分に鉄板を張って中が見えないようにしている。
- ④ 母屋の出入口は、玄関、台所裏口、食堂から屋上への出入口の 3 箇所あり、いずれも外側に鉄格子扉を取り付けている。
玄関の外側鉄格子扉には南京錠を 3 個取り付けている。この扉を開けると、更に南京錠付きの鉄格子扉があり、その内側がシリンダー錠、ドアスコープ付きの両開きの板扉で、内側に鉄の門棒錠を取り付けて施錠し通常は出入りできないようにしている。(通常の入出には裏口使用)
- ⑤ 裏口及び食堂出入口の外側の鉄格子扉には、南京錠を 2 個取り付けている。
裏口の扉は、通常時の出入口として使用しており、内側の板扉にテンキ式電機錠とシリンダー錠を取り付け、食堂出入口の内側の板扉にはシリンダー錠を取り付けている。
両板扉の内側には、鉄の門棒錠を取り付けて施錠できるようにしている。

⑥ 間取りは、居間、食堂、台所を含めて7室とバス・トイレ室があり、それぞれ出入口の扉は棒鍵錠付の板扉で、窓には全て太さ15mmの鉄格子を取り付けている。

⑦ 別棟は男子用の寝室として使用しており、出入口の扉はシリンダー錠付きの鉄格子扉で、窓には全て太さ15mmの鉄格子を取り付けている。

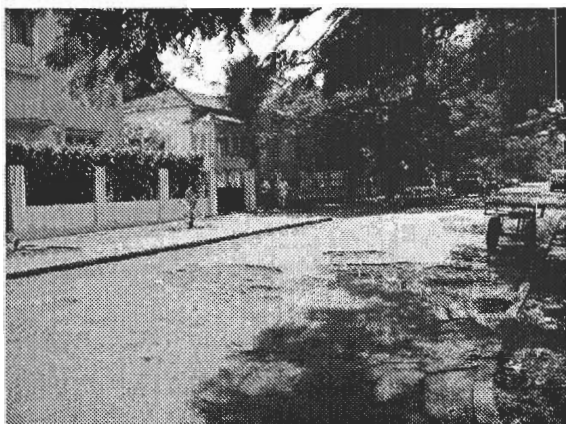
(3) 改善点

隊員連絡所としての対策はほぼ万全であり、利用者が施錠忘のないように配慮することが必要である。

室内がやや乱雑である。整理整頓に配慮することが望まれる。

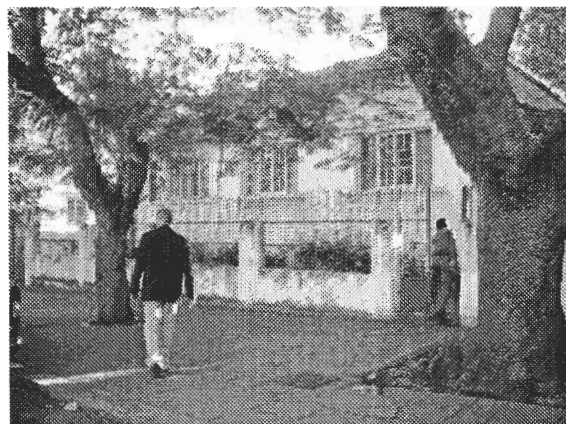
なお、連絡所周辺一帯は、路上強盗やひったくりが多い地域と言われており、出入り際には、周辺の安全確認を行い、又夜間の出入りは極力避けることが肝要である。

【隊員連絡所写真】



隊員連絡所前通り

茶色の屋根の家屋が隊員連絡所

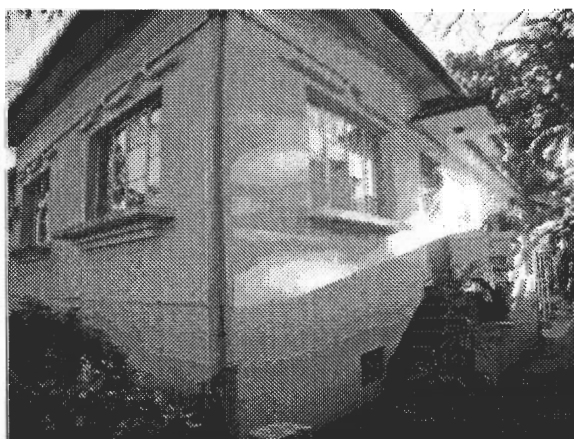


隊員連絡所表側



隊員連絡所通用門と警備員

警備員は常時1名配置



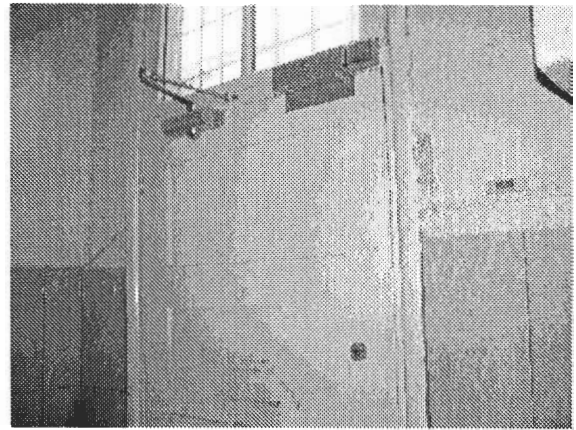
玄関側

玄関扉は2重の鉄格子扉

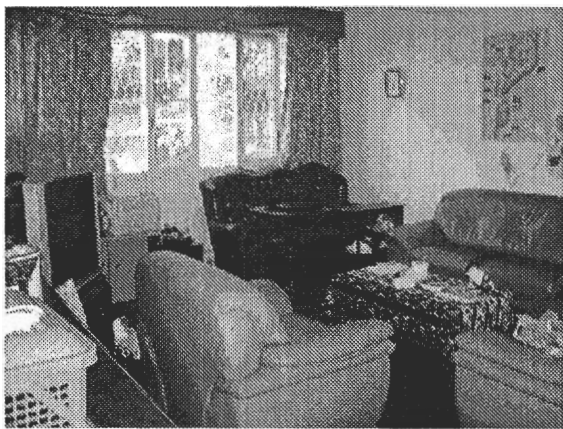


裏口扉

内側板扉はテンキ式電気錠使用



裏口扉の内側



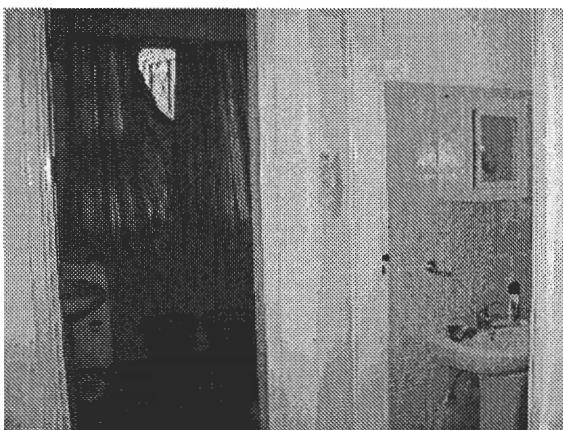
居間

窓には太さ 15 mmの鉄格子を取り付けている。



女子用寝室

扉は棒鍵錠付き板扉、窓には太さ 15 mmの鉄格子を取り付けている。



バス・トイレ室

扉は棒鍵錠付き板扉、窓には太さ 15 mmの鉄格子を取り付けている。



別棟

母屋の裏側にあり、男子用寝室として使用している。